

緑色野菜の調理法による嗜好に関する研究－Ⅳ

野菜の調理法に対する同一嗜好段階選択率

河野光子

1. 緒言

洋風化の浸透により動物性食品の摂取量が、年々増加すると共に成人病が増勢する¹⁾ ことについて、川島²⁾ や平山³⁾ は癌予防および老化防止に緑黄色野菜の摂取の必要性を強調している。この野菜の摂取量は、徐々に上昇傾向にあるが⁴⁾、未だ理想的な摂取量（一人一日当たり100g）に対して不足（特に若者は肉過多摂取）している。好まれる野菜と調理法の選び方が年齢と性別によって大きく変化している⁵⁾ から家庭や集団においても、それらの構成員に依じて好まれる野菜の種類と調理法が選ばなければならない。その指針を得るために前報⁶⁾ では21種類の野菜の10通りの調理法、計50通りの野菜料理に対する嗜好性に関するアンケート調査について分析し、その結果として、嗜好性は調理法よりも野菜の種類によるところが大きいこと、年齢に伴って野菜料理を好む傾向が高まること等を報告した。しかしこれらの結果について、次のような疑問を残した。嗜好性が野菜の種類によってきまることは、アンケート用紙における質問項目（野菜、調理法）の並べ方との関係による可能性である。すなわち、使用したアンケート用紙では、同一野菜に関する種々の調理法が並べられているため、一般に連続する質問項目に対する嗜好性の間に著しい相違がない限り、調理法が異なっても同一の嗜好段階にマークを付ける可能性が高いと考えられる。従って、この調査に用いたアンケートの質問の並べ方では、同一野菜に対して嗜好性が類似するという結果になりやすい。このことから前報⁶⁾ の年齢に伴って野菜を好む傾向が高まるという結果は、データを各年齢段階に分け、その段階の平均年齢を説明変数とし、解答をした各嗜好段階の人数のその年齢段階の全人数に対する比率を目的変数とした回帰分析の結果である。すなわち、この結果は同じ人の嗜好性が年齢に伴って変化することを意味しない。近年のように食生活の背景が急速に変化したことの影響は無視できないが、その変化は年齢に伴う変化に含まれている。

ここで扱ったアンケートは、各設問に対して5つの嗜好段階のいずれかを選択する択一マーク方式になっているので、同一の質問項目に関する6個の変数の間には密接な関係がある。しかし、前報⁶⁾ の分析では50通りの野菜と調理法の組合わせに対する各6通りの嗜好段階（5つの嗜好段階に無解答を加えた6段階）を選んだ人数をそれぞれ50×6個の独立した変数として扱った。嗜好性は個人の傾向であるにもかかわらず、前報⁶⁾ では集団における傾向としてとらえている。ある野菜、調理法に関する各人の嗜好段階と、同じ野菜に対する異なる調理法、異なる野菜に対する同じ調理法のように関連のある項目に関する各人の嗜好段階の関連性は検討されていない。

い。

これらの問題点のうち、アンケート項目の並べ方に関連のある事項は、同一の小集団に対して質問項目の並べ方を変えたアンケートを行ない、それらの結果を比較すればよい。しかし、嗜好性のような自分自身についてさえ判断のしにくい質問が多数並んだ場合、質問の順序をその内容と関係をなくすために無作為に並べると、並べ方によっては解答者に混乱を招き、その結果、回収率が大幅に下がることや、いずれの段階にもマークを付けない解答者が増えることは避けられない。年齢に伴う変化に関連のある事項は、長年月にわたり多数の人に対して追跡調査をすればよいが、そのような調査は困難であり、従って解決する方法はない。

そこで今回は前報⁹⁾に用いたアンケート結果について、択一選択方式の特徴と個人の選択傾向を活かしながら、同一の野菜の異なった調理法に対する嗜好性の間にみられる関連を検討し、各野菜料理の嗜好性に及ぼす調理法の影響とその年齢に伴う変化を考究した結果を報告する。

2. 調査および統計処理の方法

この報告は、前報⁹⁾の結果について、上述の立場から検討を加えたものである。嗜好性は年齢に伴って変化するので、前報⁹⁾と同様にアンケートの結果を男性では10、女性では11の年齢段階に分けて扱った。

同一野菜に関する調理法が嗜好性に及ぼす影響の検討は、2つ以上の調理法について調査をした次の11種類の野菜を対象とした(カッコ内は取りあげた調理法の種類)：ピーマン(2)、ほうれん草(7)、春菊(5)、ねぎ類(7)、ちしゃ類(2)、三つ葉(4)、せり(2)、広島菜類(3)、小松菜(2)、にら(2)、バセリ(3)、およびブロッコリー(2)である。

これらの野菜について、同一野菜に関する調理法の組み合わせは、ほうれん草とねぎ類では各21通り(7×6/2)、春菊では10通り(5×4/2)、三つ葉では6通り(4×3/2)、広島菜類とバセリでは各3通り(3×2/2)、ピーマン、ちしゃ類、せり、小松菜、にらおよびブロッコリーでは各1通り、計70通りである。

アンケートにおける嗜好性の段階は「非常に好き」・「好き」・「好きでも嫌いでもない」・「嫌い」および「非常に嫌い」の5段階である。これらのいずれの段階にもマークを付けなかった人数は無視できないので、それを「無回答」として扱い嗜好段階は6段階とした。

2つの調理法に対する嗜好性の関連は、 χ^2 による6×6分割表における一様性の検定法⁹⁾によらなければならない。しかし、6×6分割表において頻度が小さい項が出現しやすいので、「非常に好き」と「好き」の2段階と「嫌い」と「非常に嫌い」の2段階をそれぞれ合計して扱い、4×4分割表として検定を行った。

この検定では、大部分の回答は両方の調理法に対して同じ嗜好段階を示す4×4分割表の対角

線上とその両側に集中し、それら以外の頻度は十分でなく、検定結果に誤差が生じる。しかし、頻度が5以下の項をなくすために、性別・隣接する年齢段階あるいはこれ以上の嗜好段階の頻度を合計して扱うことは好ましくない。この問題を解決するために次の方法を用いた。すなわち2つの調理法に対して同一の嗜好段階の回答をした人数をかぞえ、それを実測値とする。次にそれぞれの野菜・調理法に対して各嗜好段階の回答をした人数より、両者に対する嗜好段階の選択が相互に独立に行われたときに同じ段階を選択する人数を求め、これを期待値とする。これら間にみられる差を F を用いた実測百分率と理論百分率の比較法⁹⁾によって検討した。この際、 4×4 分割表において合計して扱った嗜好段階は合計しなくてよい。しかし、実測値と期待値をそれぞれの嗜好段階に分けて求め比較すると、 6×6 分割表あるいは 4×4 分割表において生じたと同じく実測頻度5以下の場合が多くなるので、嗜好段階のいかにかわらず一致した嗜好段階を選んだ人数を扱った（取りあげた両方の調理に対して、各嗜好段階のそれぞれを選んだ人数の合計）。従って、ある項目についてそれぞれの嗜好段階を選んだ人が他の項目についてどのような嗜好段階に変わったかに関する情報は扱えない。

3. 結果および考察

3・1. 4×4 分割表に関する検定結果

男性10の年齢段階と女性11の年齢段階の各々について、上記70通りの野菜・調理法2つずつの組合わせに関する(1)「無回答」、(2)嗜好段階「非常に好き」と「好き」を「好き」とみなして合計、(3)「好きでも嫌いでもない」、(4)「嫌い」と「非常に嫌い」を「嫌い」とみなして合計した 4×4 分割表1470通り〔(野菜・調理法の組合わせ70通り) \times (年齢段階21)]について χ^2 による一様性の検定を行ない、結果の一部を表1に示した。

この結果は調査および統計処理の方法に記したように、両方の調理法に対して、同一の嗜好段階の回答をしたことを意味する対角線上とその両側の隣接項に大部分のデータが集中し、それら以外の項の頻度が低く χ^2 検定に適さない。しかし、各分割表を検討すると嗜好性に関する種々の情報が得られる。表1の(1)から(3)に示した例について説明を加える。

表1の(1)に示した40才代の男性におけるねぎ類の「なま物」と「汁物」に対する嗜好性において、「なま物」に対して無回答であった17名のうち12名までが「汁物」に対しては有効な段階の回答（「非常に好き」から「非常に嫌い」まで）をしている。「なま物」と「汁物」の両方に対して92名が「好き」の回答をしているが、両調理法に対する嗜好段階の選択が相互に独立（無関係）であると仮定したとき、このような人が現われる期待値は $(111 \times 104) / 174 = 66.34$ 名であり、実測値は期待値の1.39倍にあたる。「汁物」に対して「好きでも嫌いでもない」の段階の回答をした54名のうち、「なま物」に対して「好き」の段階の回答をした13名は、表1の

表1 同一野菜の異なる調理法に対する嗜好の関連性

(1) 40才代の男性・ねぎ類

調理法	嗜好段階	なま物（めん類と食用）				合計
		無回答	好き	好きでも 嫌いでもない	嫌い	
汁物	無回答	5	5	1	0	11
	好き	6	92	5	1	104
	好きでも 嫌いでもない	5	13	34	2	54
	嫌い	1	1	0	3	5
合計		17	111	40	6	174

$\chi_0^2 = 145.1$, 自由度: 9, 有意水準: 0.05以下, 独立係数 = 0.674,
度数5以上: 8, 度数5以下: 8

(2) 小学生の男性・ちしゃ類

調理法	嗜好段階	なま物（パン類と食用）				合計
		無回答	好き	好きでも 嫌いでもない	嫌い	
酢の物・あえ物	無回答	3	1	1	0	5
	好き	2	24	2	1	29
	好きでも 嫌いでもない	2	7	8	1	18
	嫌い	0	1	4	4	9
合計		7	33	15	6	61

$\chi_0^2 = 42.2$, 自由度: 9, 有意水準: 0.05以下, 独立係数 = 0.639,
度数5以上: 3, 度数5以下: 13

(3) 高校生の女性・広島菜類

調理法	嗜好段階	煮物				合計
		無回答	好き	好きでも 嫌いでもない	嫌い	
漬物	無回答	16	1	0	0	17
	好き	17	16	20	6	59
	好きでも 嫌いでもない	4	1	9	4	18
	嫌い	2	1	1	8	12
合計		39	19	30	18	106

$\chi_0^2 = 57.3$, 自由度: 9, 有意水準: 0.05以下, 独立係数 = 0.592,
度数5以上: 7, 度数5以下: 9

(1)では多いように見うけられるが、両調理法に対する嗜好段階選択が相互に独立であると仮定すると、このような人が現われる期待値は $(111 \times 54) / 174 = 34.45$ 名となり、実測値である 13 名は期待値の 38% に過ぎない。すなわち、両調理法に対して同じ嗜好段階を選択する傾向がみられる。

表 1 の(2)に示した小学生の男性におけるちしゃ類の「なま物」と「酢の物・あえ物」に対する嗜好性において、両方の調理法に対して「好き」の段階の回答をした人数は 24 名であるが、嗜好段階の選択が相互に独立に行われたと仮定したときに期待される人数は $(29 \times 33) / 61 = 15.69$ 名で、実測値はその 1.53 倍にあたる。すなわち、「なま物」が好きな人は調理法が「酢の物・あえ物」に変わっても好きである傾向が強い。「なま物」に対して「好き」・「酢の物・あえ物」に対して「好きでも嫌いでもない」の回答をした人数は 7 名であり、これに対する期待値は $(18 \times 33) / 61 = 9.74$ 名となり、実測値は期待値をやや下回る。両調理法に対して「嫌い」の回答をした人数は 4 名で、少ないように見うけられるが、この期待値は 0.89 名であり、実測値はその 4.49 倍にあたる。

表 1 の(3)に示した高校生の女性における広島菜類の「煮物」と「漬物」に対する嗜好性において、57 名が異なる嗜好段階の回答をしている。異なる嗜好段階を選ぶ人数の期待値は $[(106 - (17 \times 39) + (59 \times 19) + (18 \times 30) + (12 \times 18)] / 106 = 82.04$ 名で、実測値はその 69% である。同じ嗜好段階を選んだ人数は 49 名、その期待値は 23.96 名であり、実測値は期待値の 2.05 倍に達する。「煮物」に対して「好きでも嫌いでもない」の回答をし、「漬物」に対して「好き」の回答をした 20 名は多いように見うけられるが、このような人数の期待値は 16.70 名で、実測値はその 1.2 倍である。この差は有意とみなされない（後に記した F の値は 1.23 である）。すなわち、「煮物」と「漬物」では全く異なる感じを受ける調理法であるにもかかわらず、調理法が変わっても同じ嗜好段階を選ぶ人数が多い。

このように 1470 通りの 4×4 分割表を調べると多量の情報が得られるが、それぞれを検討して行くと同一の野菜に関する異なる調理法の嗜好性について同じ嗜好段階を選んだ人数は、両者に対する選択が相互に独立に行われたときよりも多い傾向がうかがえる。

3・2. 同一嗜好段階を示す人数の実測値と期待値の比較

先に示した 4×4 分割表では、同一野菜の異なる調理法に対して同一の嗜好段階を選ぶ傾向が見うけられるが、 4×4 分割表では、頻度 5 以下の項が多いために χ^2 の値が正しい値よりも大きく見積られるので、 χ^2 検定に適さない。つまり、上に示した例では実測値の期待値に対する比率を記したが、実測値と期待値の差が有意とみなせるかどうかについて触れていない。

このようなデータについて、2つの質問項目に対する嗜好段階選択の関連性を検討する必要がある。次の方法を用いた。すなわちアンケートにおける嗜好段階は「非常に好き」(段階 1)、「好き」(段階 2)、「好きでも嫌いでもない」(段階 3)、「嫌い」(段階 4)、および「非常に嫌い」(段

階5)の5段階である。これらに無回答(段階0)を加えて6段階とする。質問項目Aについてそれぞれの嗜好段階を選択した人数を n_{A1} 、 n_{A2} 、 n_{A3} 、 n_{A4} 、 n_{A5} および n_{A0} とし、質問項目Bに対してそのような選択をした人数を n_{B1} 、 n_{B2} 、 n_{B3} 、 n_{B4} 、 n_{B5} および n_{B0} とする。2つの質問項目に関する嗜好段階の選択が相互に独立であると仮定したとき、一致した嗜好段階を選択する人数の期待値は $\sum n_{Ai} \cdot n_{Bi} / n$ で表わされる。ただし n は各年齢段階の人数で、 i は0から5まで変化する。両項目に対して同じ嗜好段階を選んだ人数の実測値を、このようにして求めた期待値と比較する。比較は F を用いた実測百分率と理論百分率の比較法による。

例えば、表1-(1)に示した例について記すと、質問項目Aは「なま物」、質問項目Bは「汁物」であり、 $n = 174$ 、 $n_{A1} = 50$ 、 $n_{A2} = 61$ 、 $n_{A3} = 40$ 、 $n_{A4} = 5$ 、 $n_{A5} = 1$ 、 $n_{A0} = 17$ 、 $n_{B1} = 41$ 、 $n_{B2} = 63$ 、 $n_{B3} = 54$ 、 $n_{B4} = 4$ 、 $n_{B5} = 1$ および $n_{B0} = 11$ である。従って、期待値は $[(50 \times 41) + (61 \times 63) + (40 \times 54) + (5 \times 4) + (1 \times 1) + (17 \times 11)] / 174 = 47.48$ となる。実測値は表3に示すように122である。

3・3. 同一嗜好段階選択率

同一の嗜好段階を選択した人数の実測値の方がその期待値より大きい場合に、それらの間の差を有意とみなせるかどうかの検定を、次の式によって行なった。

$$F = n_2 q / n_1 p$$

ただし、 $n_1 = 2(n - k + 1)$ 、 $n_2 = 2k$ 、 $q = 1 - p$

F の自由度は n_1 と n_2 である。

上に記した例では、 $k = 122$ 、 $p = 47.48 / 174 = 0.273$ である。従って、

$$F = 244 \times 0.727 / 106 / 0.273 = 6.13$$

となる。 $n_1 = 100$ 、 $n_2 = 200$ における $\alpha = 0.05$ の F は1.32、 $\alpha = 0.01$ の F は1.48である。すなわち、実測値と期待値の間の差は0.01の水準で有意とみなせる。以後記載の便宜上、このような実測値の期待値に対する比率(この例では $122 / 47.48 = 2.6$ である)を同一嗜好段階選択率と呼ぶ。

ほうれん草に関する7通りの調理法より選んだ2つずつの調理法の組合わせ($7 \times 6 / 2 = 21$)の各々について、30才代の女性にみられる同一の嗜好段階を選択した人数の実測値を上記の方法で求めた期待値と比較した。その結果を表2に例示した。

ほうれん草に関する7通りの調理法はアンケート用紙では「炒め物」、「鍋物」、「煮物」、「丼物」、「汁物」、「酢の物・あえ物」、「蒸し物」の順に並んでいる。この表に示すように、同一嗜好段階選択率は1.59(炒め物-酢の物・あえ物)から2.68(煮物-丼物)までである。ほうれん草は極めて普通の野菜で、ここで取りあげたのは普通の調理法である。従って、同一嗜好段階選択率は他の野菜に見られる値より小さい(表3参照)。

「煮物」-「丼物」(2.68)、「鍋物」-「煮物」(2.45)、「丼物」-「蒸し物」(2.39)、「煮物」

－「蒸し物」(2.34)、「丼物」－「汁物」(2.33) のようによく似た感じを受ける調理法の間では同一嗜好段階選択率は特に高く、「炒め物」－「酢の物・あえ物」(1.59)、「丼物」－「酢の物・あえ物」(1.69)、「鍋物」－「酢の物・あえ物」(1.74)、「汁物」－「酢の物・あえ物」(1.75) のように、あまり似ていると感じられない調理法の間ではこの率はあまり高くない。一般によく似た感じを受ける調理法はアンケート用紙で並んでいるのでこの率が高い。しかし、アンケート用紙で並んでいても「炒め物」－「鍋物」(1.91)、「汁物」－「酢の物・あえ物」(1.75)、「酢の物・あえ物」－「蒸し物」(1.82)、のようによりよく似たと感じられない調理法の間ではこの率があまり高くない。すなわち、この率が高いのはアンケート用紙における並び方のため

表2 同一野菜の異なる調理法に関する嗜好性の一致
(ほうれん草・30才代の女性)

調理法 (1)	調理法 (2)	実測値	期待値	選択率	F_0	n_1	n_2
炒め物	鍋物	143	74.94	1.91	3.36**	176	286
	煮物	138	68.93	2.00	3.47**	186	276
	丼物	145	72.33	2.00	3.68**	172	290
	汁物	145	76.69	1.89	3.37**	172	290
	酢の物・あえ物	125	78.85	1.59	2.26**	212	250
	蒸し物	141	74.53	1.89	3.27**	180	282
鍋物	煮物	172	70.11	2.45	6.65**	118	344
	丼物	169	73.29	2.31	5.83**	124	338
	汁物	159	74.30	2.14	4.63**	144	318
	酢の物・あえ物	122	69.99	1.74	2.56**	218	244
	蒸し物	154	72.05	2.14	4.38**	154	308
煮物	丼物	189	70.62	2.68	10.16**	84	378
	汁物	155	69.71	2.22	4.69**	152	310
	酢の物・あえ物	110	62.52	1.76	2.18**	242	220
	蒸し物	158	67.60	2.34	5.20**	146	316
丼物	汁物	170	73.00	2.33	5.99**	122	340
	酢の物・あえ物	111	65.63	1.69	2.32**	240	222
	蒸し物	169	70.69	2.39	6.14**	124	338
汁物	酢の物・あえ物	128	73.07	1.75	2.67**	206	256
	蒸し物	163	72.94	2.23	5.16**	136	326
酢の物・あえ物	蒸し物	130	71.27	1.82	2.87**	202	260

$n_1 = 100$, $n_2 = 200$ における $F(0.01) = 1.48$ 、実測値と期待値の差は0.01の水準で有意とみなせる。

だけでなく、よく似た感じを受ける調理法であるためである可能性を否定できない。

男女別の21の年齢段階における同一野菜の調理法2種類ずつの組み合わせ70通りにおいて同一の嗜好段階を選択した人数の実測値とそれらの同一嗜好段階選択率を表3に示した。この表から分かるように、同一の野菜の異なる調理法に対して同一の嗜好段階を選択する傾向は強く、実測値は両者に対する嗜好段階の選択が相互に独立に行われると仮定したときの期待値の約2倍から3倍に達した。同じ野菜の異なる調理法に対して同一の嗜好段階を選ぶ人の比率がこのように高いことに対して、次の2つの可能性が考えられる。

(1)嗜好段階の選択は、同じ野菜では調理法を変えても、あまり変らないくらい野菜に対して固定している。(2)嗜好性のように、自分自身に関することでも、あまり明瞭な判断を下しにくい場合は、明らかな違いを感じない限りすぐ前にある質問と同じ段階にマークを付ける傾向がある。

3・4 平均同一嗜好段階選択率

上記の2項についての考察を進めやすくするために、表3に示す各野菜に関する同一嗜好段階選択率の平均値と、同一回答を示した人数がその年齢段階の80%をこえる調理法の組み合わせ数を検討した結果を、表4に示した。

表4に示した同一嗜好段階選択率の平均について、年齢段階の順位を付けると、男女とも小学生から高校生までが1位から3位までになる野菜の種類が多く、これと反対に50才代と60才代が9年齢段階中で8位か9位（女性では10段階中9位か10位）になる野菜の種類が多い。各年齢段階に属す人数の80%以上が同一の嗜好段階を選択した調理法の組み合わせ数は、男性の場合、高校生が最も多く、30才代と幼稚園児がこれに次ぐ。女性の場合は短大生、20才代、および幼稚園児に多く、中学生、高校生、30才代および50才代がこれらに次ぐ。すなわち、若い世代における嗜好段階の選択は野菜の種類によるところが大きいのが、高年齢における選択は調理法の影響を多少受けるとみなせる。これについて、次の3つの可能性が考えられる：

- (1) 嗜好段階の選択において、小学生から高校生までの年齢段階では、自己の嗜好があまり明確でないので判断を下しにくいのが、高年齢では嗜好の差が明確になり判断を下しやすくなる。
- (2) 身近な野菜に関する普通の調理法では、野菜と調理法の違いをよく理解し、各人の嗜好に關して的確な嗜好段階を選ぶことができる。しかし身近でない野菜や調理法の場合には、その違いを十分理解せず「好きでも嫌いでもない」の嗜好段階を選ぶか、その野菜かよく似た野菜の最もわかりやすい調理法に対して嗜好段階を選び、他の調理法に対しても同じ嗜好段階の回答をする。
- (3) 若年齢層では野菜の種類によって嗜好段階が決まっており、調理法の影響をあまり受けにくい（幼稚園児については、親が判断して記入した）が、高年齢層では同一の野菜でも嗜好段階が調理法によって変る。

野菜の調理法に対する同一嗜好段階選択率

表3 同一野菜の異なる調理法に対して同じ嗜好段階の回答をした人数と、それらの期待値に対する比率（同一嗜好段階選択率）

1) 男 性

調理法(1)	調理法(2)	幼稚園児		小学生		中学生		高校生		20才代		30才代		40才代		50才代		60才代		70才以上	
		人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率
ピーマン																					
揚げ物	焼き物	53	2.2	37	2.7	92	3.2	104	3.4	55	2.1	94	2.6	120	2.3	29	1.8	8	2.1	2	2.0
ほうれん草																					
炒め物	鍋物	59	2.2	39	3.0	90	2.8	102	2.1	58	1.9	80	2.0	109	2.1	28	2.6	8	2.7	2	2.0
炒め物	煮物	55	2.1	38	2.9	81	2.5	95	2.0	57	1.8	75	1.9	120	2.3	28	2.6	8	2.7	1	1.5
炒め物	丼物	54	2.2	36	3.0	76	2.3	91	1.9	59	2.0	80	2.0	110	2.1	27	2.4	7	2.5	2	2.0
炒め物	汁物	51	1.9	38	3.0	88	2.9	88	1.9	53	1.8	79	2.0	114	2.2	25	2.2	8	2.4	2	2.0
炒め物	酢の物・あえ物	41	1.7	25	1.9	61	2.2	84	2.1	48	1.7	59	1.7	98	1.9	20	2.0	5	1.6	1	1.0
炒め物	蒸し物	50	2.0	37	2.8	72	2.5	89	2.0	53	1.8	73	1.9	106	2.0	28	2.6	6	2.0	2	2.0
鍋物	煮物	61	2.3	39	3.0	94	2.6	110	2.2	61	1.8	92	2.1	122	2.4	27	2.3	13	3.3	2	2.0
鍋物	丼物	61	2.4	40	3.4	89	2.5	107	2.2	59	1.8	90	2.1	121	2.3	31	2.6	12	2.9	2	3.0
鍋物	汁物	57	2.1	36	2.8	88	2.7	101	2.1	65	2.0	88	2.0	131	2.5	28	2.2	9	2.3	3	3.0
鍋物	酢の物・あえ物	38	1.6	24	1.8	59	2.0	82	2.0	52	1.7	74	2.0	101	1.9	18	1.7	6	2.2	1	1.0
鍋物	蒸し物	58	2.3	35	2.8	77	2.5	103	2.2	56	1.7	83	2.0	116	2.3	31	2.7	9	2.4	3	3.0
煮物	丼物	72	2.9	43	3.6	99	2.7	106	2.2	69	2.1	101	2.3	142	2.6	29	2.4	12	2.9	1	1.5
煮物	汁物	58	2.2	42	3.3	87	2.6	97	2.1	69	2.0	91	2.2	132	2.5	30	2.4	9	2.3	2	2.0
煮物	酢の物・あえ物	39	1.7	23	1.8	67	2.3	85	2.0	52	1.7	68	2.0	99	2.0	23	2.2	6	2.2	2	1.0
煮物	蒸し物	61	2.4	38	3.0	84	2.6	99	2.1	58	1.7	91	2.3	127	2.4	31	2.7	9	2.4	2	2.0
丼物	汁物	65	2.6	46	3.8	93	2.8	108	2.3	61	1.9	97	2.3	139	2.5	32	2.6	10	2.6	2	3.0
丼物	酢の物・あえ物	37	1.7	23	1.9	63	2.2	84	2.0	52	1.8	64	1.8	91	1.8	21	1.9	5	2.1	1	1.0
丼物	蒸し物	63	2.6	37	3.1	79	2.5	95	2.1	62	2.0	90	2.2	135	2.5	31	2.7	10	2.6	2	3.0
汁物	酢の物・あえ物	40	1.7	21	1.5	56	2.0	87	2.2	54	1.8	75	2.1	104	2.0	23	2.0	6	1.7	1	1.0
汁物	蒸し物	60	2.3	39	3.1	77	2.6	100	2.3	62	2.0	82	2.0	130	2.5	30	2.5	11	2.8	3	3.0
酢の物・あえ物	蒸し物	37	1.7	24	1.8	70	2.6	85	2.2	55	1.9	68	2.0	99	2.0	22	2.0	5	1.5	1	1.0
春 菊																					
なま物	鍋物	51	2.4	37	3.1	93	3.7	106	2.8	53	2.2	82	2.9	98	2.4	26	2.1	6	1.7	3	3.0
なま物	丼物	51	2.4	37	3.1	96	3.7	103	2.6	64	2.4	79	2.6	112	2.7	23	2.0	8	2.3	3	3.0
なま物	汁物	52	2.5	36	3.2	86	3.3	102	2.6	68	2.6	78	2.7	117	2.9	23	1.9	7	1.9	3	3.0
なま物	蒸し物	50	2.3	37	3.1	94	3.6	107	2.7	66	2.4	84	2.8	111	2.9	25	2.2	7	2.6	3	3.0
鍋物	丼物	84	3.3	61	4.6	100	3.8	110	2.9	63	2.5	96	3.0	125	2.6	31	2.6	7	1.9	3	3.0
鍋物	汁物	69	2.8	36	3.2	97	3.6	110	2.9	66	2.6	93	2.7	127	2.7	34	2.6	9	1.9	3	3.0
鍋物	蒸し物	66	2.7	35	3.1	96	3.7	108	2.8	63	2.4	84	2.6	109	2.5	26	2.2	6	2.2	3	3.0
丼物	汁物	69	2.8	36	3.2	99	3.6	115	3.0	74	2.6	92	2.8	133	2.8	32	2.7	9	2.2	3	3.0
丼物	蒸し物	66	2.7	35	3.1	107	3.9	113	2.8	81	2.7	92	2.8	127	2.8	31	2.8	9	3.0	3	3.0
汁物	蒸し物	71	3.0	42	3.6	97	3.6	112	2.8	77	2.7	92	2.9	136	3.1	28	2.4	6	2.1	3	3.0
ね ぎ 類																					
なま物	鍋物	52	2.4	38	2.7	84	2.8	92	2.2	69	2.4	90	2.6	126	2.5	27	2.4	9	2.6	1	1.5
なま物	煮物	48	2.3	34	2.9	85	2.7	88	2.0	69	2.4	79	2.4	119	2.6	23	2.1	6	2.6	1	1.5
なま物	丼物	57	2.4	35	2.5	79	2.6	96	2.2	65	2.2	85	2.4	122	2.6	28	2.5	7	2.1	1	1.5
なま物	汁物	57	2.4	35	2.5	81	2.6	89	2.1	66	2.4	85	2.4	122	2.6	26	2.2	8	2.2	1	1.5
なま物	酢の物・あえ物	41	2.1	30	2.6	77	2.6	81	2.0	53	2.1	62	2.1	113	2.6	18	1.8	7	2.1	1	1.5
なま物	炒め物	45	2.0	39	2.8	79	2.5	90	2.1	59	2.1	72	2.4	112	2.6	21	2.1	6	2.4	-	-*

*：期待値と実測値がともに0になるので、選択率は求められない。

河 野

調理法(1)	調理法(2)	幼稚園児		小学生		中学生		高校生		20才代		30才代		40才代		50才代		60才代		70才以上	
		人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率
ねぎ類(続)																					
鍋物	煮物	66	2.9	42	3.3	100	3.2	108	2.3	69	2.4	93	2.7	131	2.7	27	2.4	10	2.4	2	2.0
鍋物	丼物	62	2.6	38	2.6	93	3.0	105	2.3	75	2.5	95	2.5	126	2.5	31	2.7	11	2.8	2	2.0
鍋物	汁物	62	2.6	38	2.6	95	3.0	102	2.3	75	2.6	99	2.6	132	2.6	30	2.4	11	2.6	2	2.0
鍋物	酢の物・あえ物	51	2.3	37	2.8	91	3.1	92	2.2	58	2.4	69	2.1	111	2.3	24	2.2	11	2.8	1	3.0
鍋物	炒め物	56	2.4	36	2.4	94	3.0	97	2.1	63	2.3	77	2.4	116	2.5	23	2.3	10	2.9	0	0.0
煮物	丼物	56	2.4	35	2.9	102	3.3	109	2.2	79	2.7	93	2.6	152	3.1	33	2.8	10	2.6	1	1.0
煮物	汁物	56	2.4	35	2.9	93	2.8	108	2.3	74	2.6	93	2.6	144	3.0	26	2.3	10	2.5	1	1.0
煮物	酢の物・あえ物	56	2.5	47	3.8	92	3.0	99	2.2	60	2.3	80	2.5	122	2.6	25	2.5	9	2.3	2	2.0
煮物	炒め物	62	2.7	39	3.1	97	2.9	101	2.1	67	2.4	89	2.7	133	2.8	31	2.8	10	2.5	1	1.0
丼物	汁物	84	3.1	61	4.0	98	3.1	103	2.2	78	2.7	111	2.9	150	3.0	30	2.5	11	2.9	3	3.0
丼物	酢の物・あえ物	44	2.1	31	2.6	83	2.8	89	2.0	57	2.2	72	2.2	119	2.5	23	2.3	11	2.9	2	2.0
丼物	炒め物	55	2.2	30	2.1	91	2.9	101	2.1	66	2.3	80	2.4	128	2.6	28	2.6	10	3.0	1	1.0
汁物	酢の物・あえ物	44	2.1	31	2.6	82	2.7	91	2.2	55	2.2	72	2.2	121	2.6	21	2.0	9	2.3	2	2.0
汁物	炒め物	55	2.2	30	2.1	91	2.7	89	2.0	65	2.4	82	2.5	123	2.6	24	2.3	10	2.8	1	1.0
酢の物・あえ物	炒め物	51	2.3	41	3.1	87	2.8	90	2.1	59	2.3	82	2.7	131	2.9	25	2.6	10	3.0	2	1.5
ちしゅ類																					
なま物	酢の物・あえ物	43	2.3	31	2.4	83	3.2	93	2.8	66	2.3	81	2.5	125	2.8	32	2.7	8	2.5	2	1.5
三ツ菜																					
鍋物	丼物	73	3.1	45	3.2	108	3.2	121	3.2	73	2.8	108	3.6	140	3.0	33	2.8	9	2.9	2	1.5
鍋物	汁物	67	2.8	46	3.2	102	3.1	122	3.2	77	2.9	99	3.4	131	2.7	28	2.2	8	2.3	2	1.5
鍋物	蒸し物	72	3.0	40	2.9	109	3.3	118	3.1	75	2.9	98	3.2	132	2.8	28	2.3	7	2.3	1	1.5
丼物	汁物	71	2.9	48	3.5	107	3.2	121	3.2	77	3.0	99	3.3	136	2.7	30	2.5	8	2.3	3	1.8
丼物	蒸し物	71	2.9	45	3.3	100	3.1	115	3.1	81	3.2	99	3.2	144	2.9	34	2.8	11	2.8	2	1.5
汁物	蒸し物	68	2.7	38	2.8	103	3.2	116	3.1	74	2.9	102	3.4	134	2.7	30	2.5	7	2.1	2	1.5
せり																					
鍋物	酢の物・あえ物	71	3.3	48	3.4	108	3.5	118	3.2	81	3.6	95	3.5	132	3.3	31	3.1	8	2.4	3	1.8
広島菜類																					
煮物	漬物	45	2.2	38	3.1	91	3.4	97	2.9	59	2.4	66	2.3	92	2.1	23	2.1	2	1.0	2	2.0
煮物	炒め物	62	2.6	42	3.3	93	3.2	112	3.0	63	2.3	83	2.5	118	2.7	30	2.7	9	2.0	2	1.5
漬物	炒め物	47	2.3	40	3.0	86	3.2	97	3.1	71	2.8	75	2.3	109	2.3	24	2.4	4	1.6	1	1.0
小松菜																					
煮物	漬物	62	2.8	52	3.7	97	3.2	114	3.2	75	2.6	86	2.7	127	2.8	28	2.3	7	1.8	2	2.0
にら																					
煮物	炒め物	61	3.5	43	3.5	97	3.8	102	3.1	55	2.3	79	3.0	120	3.2	23	2.6	9	3.3	3	3.0
パセリ																					
なま物	酢の物・あえ物	55	2.7	36	3.2	83	3.6	104	2.9	66	2.7	89	3.3	115	2.9	28	2.1	6	1.9	1	1.5
なま物	汁物	49	2.4	35	3.2	80	3.6	104	3.0	65	2.8	85	3.1	118	3.0	24	1.9	6	1.9	1	1.5
酢の物・あえ物	汁物	66	3.3	44	3.9	107	4.7	114	3.1	67	2.7	103	3.6	140	3.2	31	2.4	10	1.9	3	3.0
ブロッコリー																					
酢の物・あえ物	炒め物	59	3.4	41	3.4	79	3.2	93	2.9	63	2.6	80	2.8	133	3.0	28	2.6	6	2.0	1	1.5
総人数		84		61		126		134		98		117		174		41		13		3	

野菜の調理法に対する同一嗜好段階選択率

表3(続) 同一野菜の異なる調理法に対して同じ嗜好段階の回答をした人数と、それらの期待値に対する比率(同一嗜好段階選択率)

2) 女性

調理法(1)	調理法(2)	幼稚園児		小学生		中学生		高校生		短大生		20才代		30才代		40才代		50才代		60才代		70才以上	
		人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率
ピーマン																							
揚げ物	焼き物	54	2.5	37	2.2	88	2.8	68	3.1	21	2.9	42	2.1	155	2.3	99	2.1	16	2.0	4	1.3	3	2.0
ほうれん草																							
炒め物	鍋物	53	2.3	39	2.0	90	2.0	67	2.6	22	2.7	40	1.7	143	1.9	101	2.3	15	2.6	7	2.0	3	1.7
炒め物	煮物	51	2.2	39	2.1	89	2.0	55	2.3	21	2.5	39	1.8	138	2.0	91	2.3	15	2.4	6	1.9	4	1.6
炒め物	丼物	55	2.3	35	1.9	82	1.8	54	2.0	19	2.4	41	1.8	145	2.0	86	2.1	16	2.7	7	1.9	3	1.7
炒め物	汁物	47	2.0	28	1.5	85	1.9	58	2.2	19	2.3	39	2.0	145	1.9	87	2.0	15	2.8	4	1.5	3	1.7
炒め物	酢の物・あえ物	41	2.0	22	1.5	71	1.6	62	2.4	19	2.1	33	1.5	125	1.6	66	1.5	10	1.8	6	1.4	1	1.3
炒め物	蒸し物	49	2.1	29	1.7	81	1.9	56	2.1	21	2.5	40	1.9	141	1.9	85	1.9	15	2.6	5	1.6	3	1.7
鍋物	煮物	67	2.8	44	2.4	111	2.3	70	2.6	25	3.1	51	2.2	172	2.5	110	2.8	16	2.5	10	2.9	3	1.7
鍋物	丼物	68	2.8	44	2.5	108	2.2	71	2.3	22	2.9	51	2.2	169	2.3	102	2.4	16	2.5	9	2.4	2	1.6
鍋物	汁物	64	2.7	38	2.1	92	2.0	72	2.6	22	2.8	47	2.2	159	2.1	100	2.4	17	2.9	8	2.4	2	1.6
鍋物	酢の物・あえ物	36	1.7	24	1.7	72	1.6	50	2.0	18	2.0	34	1.7	122	1.7	67	1.8	9	2.1	5	1.5	2	2.0
鍋物	蒸し物	56	2.4	39	2.4	92	2.0	67	2.4	21	2.7	45	2.2	154	2.1	92	2.2	15	2.5	9	2.6	2	1.6
煮物	丼物	73	3.0	48	2.6	107	2.1	78	2.5	25	3.1	52	2.2	189	2.7	118	2.9	18	2.8	9	2.5	3	1.7
煮物	汁物	65	2.8	39	2.2	98	2.0	65	2.4	24	3.0	48	2.1	155	2.2	109	2.8	17	3.0	10	2.9	3	1.7
煮物	酢の物・あえ物	30	1.6	30	2.1	70	1.5	47	2.1	19	2.0	34	1.9	110	1.8	61	1.8	10	2.1	5	1.4	1	1.3
煮物	蒸し物	54	2.3	36	2.2	88	1.9	64	2.3	21	2.6	46	2.3	158	2.3	91	2.3	16	2.6	9	2.6	3	1.7
丼物	汁物	65	2.7	42	2.4	105	2.1	74	2.4	25	3.3	53	2.5	170	2.3	105	2.6	19	3.3	7	2.0	4	2.7
丼物	酢の物・あえ物	29	1.5	28	2.0	78	1.7	49	1.9	18	2.1	37	1.9	111	1.7	58	1.8	9	1.9	6	1.5	2	2.7
丼物	蒸し物	55	2.3	44	2.7	97	2.0	75	2.4	25	3.3	50	2.5	169	2.4	100	2.4	16	2.6	10	2.8	4	2.7
汁物	酢の物・あえ物	35	1.7	26	1.7	87	1.9	46	1.8	20	2.3	34	2.0	128	1.8	70	1.9	9	2.2	3	1.4	2	2.7
汁物	蒸し物	53	2.2	38	2.3	94	2.0	71	2.4	23	2.9	48	2.6	163	2.2	100	2.4	15	2.7	9	2.5	4	2.7
酢の物・あえ物	蒸し物	44	2.1	27	1.8	85	1.9	52	2.0	21	2.4	37	2.0	130	1.8	66	1.6	10	2.4	4	1.5	2	2.7
春 菊																							
なま物	鍋物	58	2.2	40	3.0	84	2.6	77	3.3	20	2.9	41	2.4	137	2.8	74	1.8	12	2.1	8	2.5	1	1.0
なま物	丼物	58	2.2	40	3.0	93	2.7	80	3.2	20	3.0	43	2.4	145	2.9	90	2.3	10	1.7	9	2.9	3	1.7
なま物	汁物	52	2.1	40	3.0	92	2.8	79	3.5	20	2.9	46	2.5	144	2.9	90	2.2	11	1.8	6	1.8	3	1.7
なま物	蒸し物	56	2.2	42	3.2	91	2.6	75	3.2	19	2.9	48	2.6	150	3.0	88	2.3	11	2.1	9	2.9	3	1.7
鍋物	丼物	87	2.8	67	4.8	115	3.2	83	3.6	27	3.5	59	3.2	201	3.5	100	2.3	15	2.8	8	2.1	2	1.3
鍋物	汁物	72	2.4	41	3.0	119	3.5	86	3.9	27	3.5	53	2.9	190	3.3	110	2.3	14	2.4	8	1.8	2	1.3
鍋物	蒸し物	75	2.5	41	3.1	107	3.0	78	3.5	24	3.4	50	2.9	164	3.0	87	2.1	12	2.4	8	2.1	2	1.3
丼物	汁物	72	2.4	41	3.0	121	3.4	88	3.9	28	3.6	53	2.8	181	3.2	114	2.6	15	2.5	8	1.8	4	1.6
丼物	蒸し物	75	2.5	41	3.1	116	3.1	87	3.8	27	3.6	54	3.0	180	3.2	111	2.7	16	2.9	10	2.4	4	1.6
汁物	蒸し物	74	2.5	46	3.4	119	3.3	81	3.7	26	3.6	55	3.1	174	3.2	105	2.4	13	2.5	6	1.4	4	1.6
ねぎ類																							
なま物	鍋物	63	2.6	35	2.4	88	2.3	59	2.6	21	2.3	42	2.2	161	2.6	98	2.3	13	2.7	5	1.3	3	1.7
なま物	煮物	58	2.5	41	2.8	88	2.2	62	2.7	20	2.2	40	2.1	149	2.6	77	2.1	15	3.2	7	1.9	3	1.7
なま物	丼物	64	2.4	32	2.2	93	2.3	64	2.6	18	2.0	42	2.3	159	2.5	80	2.0	15	3.3	7	1.6	3	1.7
なま物	汁物	64	2.4	32	2.2	87	2.3	68	2.8	22	2.3	42	2.2	165	2.5	86	2.1	14	2.8	6	1.4	3	1.7
なま物	酢の物・あえ物	39	2.0	36	2.6	85	2.2	54	2.0	14	1.7	34	2.2	126	2.3	75	2.0	13	2.8	6	1.6	2	2.0
なま物	炒め物	53	2.3	44	3.0	82	2.2	52	2.6	16	2.0	34	1.9	131	2.2	65	1.9	14	2.9	4	1.0	3	1.7

河 野

調理法(1)	調理法(2)	幼稚園児		小学生		中学生		高校生		短大生		20才代		30才代		40才代		50才代		60才代		70才以上	
		人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率	人数	選択率
ねぎ類 (続)																							
鍋物	煮物	71	2.8	39	2.5	112	2.6	84	3.4	25	2.8	55	2.9	178	2.9	101	2.5	18	3.8	8	2.0	4	2.7
鍋物	丼物	66	2.4	38	2.5	114	2.7	73	2.8	20	2.3	55	2.9	177	2.7	98	2.3	16	3.4	8	1.7	3	2.4
鍋物	汁物	66	2.4	38	2.5	110	2.7	70	2.8	20	2.2	53	2.8	178	2.7	108	2.5	16	3.0	6	1.1	4	2.7
鍋物	酢の物・あえ物	55	2.5	33	2.2	99	2.4	73	3.2	13	1.6	43	2.7	147	2.5	85	2.2	13	2.7	8	2.1	2	2.7
鍋物	炒め物	64	2.6	35	2.3	95	2.4	68	3.1	23	2.8	51	2.7	154	2.5	85	2.3	15	3.1	8	2.0	4	2.7
煮物	丼物	57	2.2	36	2.3	120	2.7	82	3.1	22	2.6	52	2.8	181	2.9	114	2.7	19	4.1	8	1.7	3	2.4
煮物	汁物	57	2.2	36	2.3	104	2.5	74	2.9	21	2.3	50	2.7	175	2.8	106	2.6	16	3.1	7	1.3	4	2.7
煮物	酢の物・あえ物	54	2.4	47	2.7	96	2.2	71	3.0	14	1.7	41	2.6	169	2.9	91	2.4	15	3.4	7	2.0	2	2.7
煮物	炒め物	60	2.5	49	3.0	101	2.4	72	3.1	24	2.9	51	2.8	162	2.7	95	2.4	18	3.7	7	1.8	4	2.7
丼物	汁物	87	2.8	67	4.3	107	2.6	84	3.1	27	3.0	54	2.9	212	3.2	120	2.8	16	3.2	9	1.3	3	2.4
丼物	酢の物・あえ物	41	2.0	35	2.4	95	2.2	68	2.8	12	1.6	42	2.7	145	2.5	90	2.3	15	3.1	7	1.7	3	2.4
丼物	炒め物	52	2.1	39	2.6	99	2.4	69	3.0	20	2.5	50	2.8	153	2.4	96	2.4	16	3.3	9	2.0	3	2.4
汁物	酢の物・あえ物	41	2.0	35	2.4	95	2.3	63	2.8	10	1.3	37	2.5	141	2.4	87	2.2	12	2.4	6	1.4	2	2.7
汁物	炒め物	53	2.1	39	2.6	95	2.4	62	2.8	18	2.2	44	2.4	154	2.5	91	2.3	15	2.9	6	1.4	4	2.7
酢の物・あえ物	炒め物	58	2.8	44	2.9	104	2.5	75	3.2	15	1.9	48	2.9	166	2.8	92	2.5	18	3.6	9	2.5	2	2.7
ちしゅ類																							
なま物	酢の物・あえ物	53	2.9	34	2.0	99	2.6	87	2.9	23	2.0	52	3.0	149	2.2	102	2.3	10	1.8	9	1.4	3	2.0
三ツ葉																							
鍋物	丼物	80	3.1	54	3.2	122	3.2	86	3.3	28	2.2	55	2.8	194	3.2	111	2.5	15	2.7	9	2.1	3	2.4
鍋物	汁物	76	3.0	48	3.0	119	3.2	87	3.3	26	2.3	53	3.1	178	3.0	102	2.4	13	2.1	9	1.9	3	2.4
鍋物	蒸し物	80	3.0	46	2.9	119	3.2	82	3.0	25	2.2	52	2.9	188	3.1	109	2.7	12	2.2	7	1.6	3	2.4
丼物	汁物	73	2.8	50	3.0	121	3.4	88	3.5	25	2.1	47	2.5	191	3.1	110	2.5	17	2.9	10	2.4	4	2.7
丼物	蒸し物	79	3.0	48	2.9	117	3.3	92	3.6	26	2.2	49	2.5	191	3.2	113	2.7	15	2.7	10	2.4	2	2.0
汁物	蒸し物	73	2.8	50	3.2	118	3.4	85	3.4	25	2.3	50	2.9	185	3.0	107	2.6	16	2.8	8	1.9	2	2.0
せり																							
鍋物	酢の物・あえ物	80	3.1	57	3.4	122	3.3	94	2.5	27	2.5	52	2.4	171	3.3	97	3.0	11	2.5	7	2.5	1	1.3
広島菜類																							
煮物	漬物	42	2.3	36	2.8	89	2.8	42	2.3	11	1.9	34	2.4	109	2.0	79	2.1	10	2.6	6	1.1	3	1.3
煮物	炒め物	62	2.9	49	3.2	111	3.1	77	3.3	17	2.3	41	2.1	157	2.5	101	2.6	15	2.6	7	1.5	4	1.6
漬物	炒め物	49	2.6	38	3.0	106	3.4	51	2.6	17	2.2	39	2.4	136	2.1	86	2.1	9	1.8	6	1.1	3	1.3
小松菜																							
煮物	漬物	61	3.0	49	2.8	118	3.0	92	2.0	21	2.3	51	2.5	154	2.6	94	2.2	10	1.9	7	1.7	3	3.0
にら																							
煮物	炒め物	65	3.6	45	3.8	114	3.6	78	3.7	23	3.5	50	3.6	142	2.9	84	2.5	11	2.6	9	3.2	3	2.4
パセリ																							
なま物	酢の物・あえ物	55	2.6	38	2.6	97	3.3	77	3.2	23	2.9	44	2.7	161	3.2	76	2.4	9	1.5	9	3.3	3	3.0
なま物	汁物	52	2.5	38	2.8	90	3.2	77	3.2	20	2.6	44	2.7	155	3.0	83	2.6	9	1.4	8	2.8	3	3.0
酢の物・あえ物	汁物	72	3.1	46	3.2	115	3.7	91	3.9	27	3.3	59	3.4	188	3.5	113	3.4	18	2.4	10	3.2	4	2.7
ブロッコリー																							
酢の物・あえ物	炒め物	60	3.3	42	3.5	89	3.2	58	3.6	21	2.8	46	3.0	151	2.5	91	2.4	5	1.1	6	1.6	3	3.0
総人数		87		67		144		106		31		64		230		143		21		12		4	

表4に示した同一嗜好段階選択率は、同一の野菜でも調理法の組み合わせによって異なると考えられるので、同一野菜に対する異なる調理法のすべての組み合わせ70通りについて同一嗜好段階選択率の平均（各年齢段階における比率の合計を年齢段階の数で除した値）を求めた。ただし70才以上は人数が少ないので除き、同じ嗜好段階を選んだ人数がその年齢段階の人数の80%を越える年齢段階の数を表5に示した。

3・5. 調査野菜に対する調理法と嗜好との関係

表3、表4および表5より次のことがわかる（なお参考のために、前報⁹⁾の表5に記した各野菜に対する嗜好の概要も付記した）。すなわち、異なる調理法に対して同じ嗜好段階の回答を選ぶ率が高い。嗜好段階の選択が野菜の種類によってきまり調理法の影響を受けにくいのは、せり、にら、三つ葉、パセリ、ブロッコリー、春菊、および小松菜である。また調理法によって好まれる程度が異なる野菜の場合は、調理法に対しての同一嗜好段階選択率はあまり高くない。しかし、平均比率は調理法の組み合わせと年齢によって異なる。

12種の野菜とその調理法について考察した結果の概要は次の通りである。

3・5・1. ピーマン：「揚げ物」と「焼き物・炒め物」の2通りの調理法では、好まれる程度（前報⁹⁾の表2の評価の値）は低く、調理法によって異なり、「揚げ物」よりも「焼き物・炒め物」を好まれる。同一嗜好段階選択率は、男性では2.49、女性では2.33とあまり高くない。しかし、この率は年齢段階によって大きく異なり、男性では小学生、中学生、高校生、および30才代（2.6～3.4）、女性では中学生、高校生、および短大生（2.8～3.1）で高い。しかし他の年齢段階では、あまり高くない（男性では2.3以下、女性では2.5以下）。

すなわち、上記の年齢段階では、この野菜に対する嗜好は調理法を変えても変わらない。しかし、それ以外の年齢段階では「揚げ物」と「焼き物・炒め物」というよく似た感じの調理法であっても嗜好段階が異なるので、このような年齢を含む家庭における調理では「揚げ物」よりも「焼き物・炒め物」を選ぶとよい。

3・5・2. ほうれん草：「炒め物」、「鍋物」、「煮物」、「丼物」、「汁物」、「酢の物・あえ物」および「蒸し物」の7通りの調理法を対象とした。好まれる傾向が強い野菜で、「酢の物・あえ物」と「炒め物」が特に好まれる。最も好まれる「酢の物・あえ物」に対する嗜好段階は他の調理法に対するそれと異なり、この調理法と他の調理法に対する同一嗜好段階選択率は2.0以下で、このような人数が80%越える年齢段階はない。

年齢によってもこの比率は大きく異なり、男性の20才代では低い（1.85）。小学生ではこの比率が調理法の組み合わせによって大きく変動し、「酢の物・あえ物」と他の調理法の間ではこの比率は2.0以下であるが、他の組み合わせでは3.0以上である。女性では短大生（2.62）において同一嗜好段階選択率が他の年齢よりも高く、「酢の物・あえ物」に対しても2.0以下の値を取らない。「酢の物・あえ物」に次いで好まれる傾向の強い「炒め物」について、男女ともこの比率

表4 平均同一嗜好段階選択率と同一嗜好段階の回答をした人数が80%をこえる組合わせ数(年齢段階・野菜種類別)

- 1) 平均同一嗜好段階選択率: それぞれの野菜について、2種類の調理法の各組合せの、同一嗜好段階選択率を求め、その合計を組合せ数で割った値。
- 2) 組合せ数: 各年齢段階に属する人数の80%が、同じ嗜好段階の回答をした調理法の組合せ数。
- 3) 上記の組合せ数の内、アンケート用紙上で連続した項目に関する組合せ数を()で示す。

1) 男性

野菜種類	年齢段階									
	幼稚園児	小学生	中学生	高校生	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代	
ピーマン (1)										
平均	2.17	2.72	3.22	3.37	2.15	2.63	2.28	1.78	2.08	
組合せ数						1				
ほうれん草 (21)										
平均	2.12	2.73	2.50	2.10	1.85	2.04	2.23	2.35	2.39	
組合せ数	1 (1)			2 (2)		2 (2)	1 (1)		4 (2)	
春 菊 (10)										
平均	2.69	3.33	3.65	2.79	2.51	2.78	2.74	2.35	2.18	
組合せ数	4 (3)	1 (1)	1	6 (3)	1	1 (1)		1		
ねぎ類 (21)										
平均	2.40	2.81	2.86	2.15	2.38	2.47	2.66	2.37	2.59	
組合せ数	1 (1)	1 (1)	1 (1)	3 (2)	1 (1)	3 (1)	3 (2)	1 (1)	5 (1)	
ちしゃ類 (1)										
平均	2.30	2.39	3.16	2.78	2.32	2.53	2.81	2.71	2.54	
組合せ数										
三ツ葉 (6)										
平均	2.90	3.15	3.18	3.15	2.95	3.35	2.80	2.52	2.45	
組合せ数	5 (3)		5 (3)	6 (3)	1	6 (3)	2 (1)	2 (1)	1	
せり (1)										
平均	3.29	3.44	3.51	3.20	3.60	3.48	3.34	3.07	2.42	
組合せ数	1 (1)		1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)				
広島菜類 (3)										
平均	2.37	3.13	3.27	3.00	2.50	2.37	2.37	2.40	1.53	
組合せ数				1						
小松菜 (1)										
平均	2.77	3.74	3.19	3.21	2.56	2.66	2.84	2.26	1.82	
組合せ数		1 (1)		1 (1)						
にら (1)										
平均	3.47	3.54	3.85	3.10	2.30	3.03	3.21	2.56	3.25	
組合せ数										
パセリ (3)										
平均	2.80	3.43	3.97	3.00	2.73	3.33	3.03	2.13	1.90	
組合せ数			1 (1)	1 (1)		1 (1)	1 (1)			
ブロッコリー (1)										
平均	3.38	3.36	3.24	2.94	2.65	2.75	2.98	2.58	2.00	
組合せ数										
組合せ数の合計	12 (9)	3 (3)	9 (6)	21 (13)	4 (2)	15 (9)	7 (5)	4 (2)	10 (3)	

表4 (続)

- 1) 平均同一嗜好段階選択率：それぞれの野菜について、2種類の調理法の各組合せの、同一嗜好段階選択率を求め、その合計を組合せ数で割った値。
- 2) 組合せ数：各年齢段階に属する人数の80%が、同じ嗜好段階の回答をした調理法の組合せ数。
- 3) 上記の組合せ数の内、アンケート用紙上で連続した項目に関する組合せ数を()で示す。

2) 女 性

野菜種類	年齢段階									
	幼稚園児	小学生	中学生	高校生	短大生	20才代	30才代	40才代	50才代	60才代
ピーマン (1)										
平均	2.46	2.20	2.80	3.07	2.89	2.12	2.28	2.14	2.02	1.26
組合せ数										
ほうれん草 (21)										
平均	2.26	2.09	1.92	2.27	2.62	2.06	2.06	2.20	2.52	2.06
組合せ数	1 (1)				4 (3)	2 (2)	1 (1)	1 (1)	4 (2)	3 (1)
春 菊 (10)										
平均	2.38	3.26	3.02	3.56	3.29	2.78	3.10	2.30	2.32	2.17
組合せ数	6 (3)	1 (1)	4 (2)	3 (1)	5 (3)	5 (3)	2 (1)			1
ねぎ類 (21)										
平均	2.38	2.60	2.40	2.90	2.20	2.57	2.62	2.32	3.17	1.66
組合せ数	2 (2)	1 (1)	1 (1)		2 (2)	5 (3)	1 (1)	1 (1)	4 (3)	
ちしゃ類 (1)										
平均	2.95	2.03	2.63	2.92	1.99	3.00	2.23	2.33	1.81	1.38
組合せ数				1		1				
三ツ葉 (6)										
平均	2.95	3.03	3.28	3.35	2.22	2.78	3.10	2.57	2.57	2.05
組合せ数	6 (3)	1 (1)	6 (3)	5 (3)	6 (3)	3 (1)	5 (3)		1 (1)	2 (1)
せり (1)										
平均	3.11	3.42	3.32	2.49	2.50	2.41	3.27	3.04	2.54	2.47
組合せ数	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)				
広島菜類 (3)										
平均	2.60	3.00	3.10	2.73	2.13	2.30	2.20	2.27	2.33	1.23
組合せ数										
小松菜 (1)										
平均	3.02	2.85	3.01	1.98	2.33	2.53	2.56	2.23	1.94	1.68
組合せ数			1 (1)	1 (1)						
にら (1)										
平均	3.63	3.76	3.63	3.69	3.50	3.61	2.87	2.53	2.57	3.18
組合せ数										
パセリ (3)										
平均	2.73	2.87	3.40	3.43	2.93	2.93	3.23	2.80	1.77	3.10
組合せ数	1 (1)			1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)		1 (1)	1 (1)
ブロッコリー (1)										
平均	3.27	3.54	3.23	3.63	2.76	2.99	2.50	2.38	1.06	1.64
組合せ数										
組合せ数の合計	17(11)	4(4)	13(8)	12(7)	19(13)	18(11)	10(7)	2(2)	10(7)	7(3)

表5 同一嗜好段階選択率の平均と同一嗜好段階の回答をした人数が80%を越える年齢段階数(野菜種類・調理法の組合せ別)

調 理 法	男 性		女 性		調 理 法	男 性		女 性	
	選択率の平均	組合せ数	選択率の平均	組合せ数		選択率の平均	組合せ数	選択率の平均	組合せ数
ピーマン(1)					ねぎ類(統)				
揚げ物 焼き物 *	2.49	1	2.33		鍋物 汁物	2.59	2	2.47	1
ほうれん草(21)					鍋物 酢の物・あえ物	2.47	1	2.41	
炒め物 鍋物 *	2.38		2.21		鍋物 炒め物	2.48		2.58	
炒め物 煮物	2.31		2.15		煮物 丼物 *	2.73	5	2.71	3
炒め物 丼物	2.27		2.09		煮物 汁物	2.60	2	2.47	
炒め物 汁物	2.26		2.01		煮物 酢の物・あえ物	2.63		2.53	
炒め物 酢の物・あえ物	1.87		1.74		煮物 炒め物	2.67		2.73	1
炒め物 蒸し物	2.18		2.02		丼物 汁物 *	2.93	5	2.92	6
鍋物 煮物 *	2.44	2	2.61	2	丼物 酢の物・あえ物	2.40	1	2.33	
鍋物 丼物	2.47	1	2.45		丼物 炒め物	2.47		2.55	
鍋物 汁物	2.30		2.42	1	汁物 酢の物・あえ物*	2.32		2.17	
鍋物 酢の物・あえ物	1.88		1.78		汁物 炒め物	2.40		2.36	
鍋物 蒸し物	2.32		2.35		酢の物・あえ物 炒め物 *	2.64		2.76	1
煮物 丼物 *	2.63	4	2.64	6	平均 *	2.64	11	2.62	14
煮物 汁物	2.40		2.54	2	平均	2.47	7	2.43	3
煮物 酢の物・あえ物	1.99		1.83		ちしゝ類(1)				
煮物 蒸し物	2.40		2.34		なま物 酢の物・あえ物*	2.61		2.31	2
丼物 汁物 *	2.60	2	2.56	3	三ッ葉(6)				
丼物 酢の物・あえ物	1.91		1.80		鍋物 丼物 *	3.09	6	2.83	7
丼物 蒸し物	2.48		2.54	2	鍋物 汁物	2.87	3	2.73	5
汁物 酢の物・あえ物*	1.89		1.87		鍋物 蒸し物	2.87	4	2.68	5
汁物 蒸し物	2.46	1	2.42		丼物 汁物 *	2.96	4	2.82	7
酢の物・あえ物 蒸し物 *	1.97		1.95		丼物 蒸し物	3.03	7	2.85	6
平均 *	2.32	8	2.31	11	汁物 蒸し物 *	2.82	4	2.83	5
平均	2.23	2	2.17	5	平均 *	3.03	14	2.83	19
春 菊(10)					平均	2.90	14	2.77	16
なま物 鍋物 *	2.59		2.56		せり(1)				
なま物 丼物	2.68		2.63		鍋物 酢の物・あえ物*	3.26	5	2.85	6
なま物 汁物	2.62		2.55		広島菜類(3)				
なま物 蒸し物	2.73		2.70		煮物 漬物 *	2.39		2.23	
鍋物 丼物 *	3.02	4	3.18	5	煮物 炒め物	2.70	1	2.61	
鍋物 汁物	2.78	3	2.90	6	漬物 炒め物 *	2.56		2.33	
鍋物 蒸し物	2.69	1	2.80	1	平均 *	2.48		2.28	
丼物 汁物 *	2.86	2	2.92	5	平均	2.70	1	2.61	
丼物 蒸し物	2.96	3	3.03	6	小松菜(1)				
汁物 蒸し物 *	2.91	2	2.91	4	煮物 漬物 *	2.79	2	2.40	2
平均 *	2.85	8	2.89	14	にら(1)				
平均	2.74	7	2.77	13	煮物 炒め物 *	3.14		3.30	
ねぎ類(21)					パセリ(3)				
なま物 鍋物 *	2.51		2.33		なま物 酢の物・あえ物*	2.81		2.77	
なま物 煮物	2.44		2.43		なま物 汁物	2.77		2.68	
なま物 丼物	2.39		2.32		酢の物・あえ物 汁物 *	3.20	4	3.31	7
なま物 汁物	2.38		2.30		平均 *	3.01	4	3.04	7
なま物 酢の物・あえ物	2.22		2.20		平均	2.77		2.68	
なま物 炒め物	2.33		2.20		ブロッコリー(1)				
鍋物 煮物 *	2.70	1	2.82	3	酢の物・あえ物 炒め物 *	2.88		2.70	
鍋物 丼物	2.61	2	2.57	1					

注 選択率の平均:各年齢段階に関する同一嗜好段階選択率の合計を、年齢段階数で割った値(ただし、70才以上を除く)。

* :アンケート用紙において連続した調理法の組合せを示す。

平均*:アンケート用紙において連続した組合せの選択率の平均に関する平均(該当する選択率の平均を合計し、組合せ数で割った値)。

平均:それら以外の組合せに関する平均。

は2.0以下であるが、他の組み合わせでは3.0倍以上である。女性では短大生(2.62)において同一嗜好段階選択率が他の年齢よりも高く、「酢の物・あえ物」に対しても2.0以下の値を取らない。「酢の物・あえ物」に次いで好まれる傾向の強い「炒め物」について、男女ともこの比率はあまり高くない。

アンケート用紙において連続した項目に関する同一嗜好段階選択率の平均と、それ以外の平均の間に明らかな差は認められない。すなわち、この比率は調理法の並べ方には関係が少なくと考えられる。

ほうれん草は極く一般的な野菜であり、その主な調理法によって食べる機会が多く、各種の調理法はよく認識されており、それらに対する嗜好性をよく理解した上でアンケートの回答がなされたと考えられる。「酢の物・あえ物」と「炒め物」は、他の調理法より好まれ、他の調理法と区別して認識されているとみなせる。

3・5・3. 春菊：「なま物」、「鍋物」、「丼物」、「汁物」、および「蒸し物」の5通りの調理法を対象とした。年齢に伴って嗜好が変化する(好きになる)傾向が最も強い野菜の1つであるが、調理法によって評価が異なり、同一嗜好段階選択率が高い。この傾向はよく似た感じを受ける調理法である「鍋物」、「丼物」、「汁物」および「蒸し物」の間で著しい。しかし、やや感じが異なる「なま物」と他の調理法の組み合わせでは、他の組み合わせと比べると同一嗜好段階選択率がやや低い。男性では小学生、中学生(3.1~4.6、平均は3.33~3.65)において、女性では小学生、中学生、高校生、短大生、20才代および30才代(2.4~4.8、平均は2.78~3.56)において特にこの比率が高いが、50才代の男性(1.9~2.8、平均は2.35)と、40才代の女性(1.8~2.7、平均は2.30)において、この率はあまり高くない。「蒸し物」は好まれる傾向が他の調理法に比べて低い調理法であるが、同一嗜好段階選択率は「なま物」以外の調理法相互の間にみられるこの比率と変らない。

アンケート用紙において連続した調理法の間でも、「なま物」と「鍋物」のように異なる感じを受ける調理法の間では、この比率(男性では2.59、女性では2.56)は高くなく、連続しない調理法でも「丼物」と「蒸し物」のようによく似た感じを受ける調理法の間ではこの比率(男性では2.96、女性では3.03)が高い。

春菊は伝統的な野菜で、いずれも知られた調理法をあげたが、各調理法に対する無回答率が低く、しかも「好きでも嫌いでもない」の嗜好段階の回答率がほうれん草やねぎ類のようによく知られた野菜のそれよりも低い。従って、この野菜の各調理法に対する嗜好段階の選択は、それぞれの料理の十分に理解した上で行われ、また「なま物」に対する評価が低く、他の調理法と同じ嗜好段階を選んだ人数が少ないのは、アンケートにおける調理法の並べ方のためではなく、「なま物」として食用する習慣が少ないためと考えられる。また、男性では小学生から中学生まで、女性では小学生から30才代までにおけるこの野菜に対する嗜好性は、それぞれの人によ

て決っており、調理法の影響を受けにくい。しかし男性では50才代、女性では40才代において、調理法の違いによって嗜好が異なる。

3・5・4. **ねぎ類**：「なま物」、「鍋物」、「煮物」、「丼物」、「汁物」、「酢の物・あえ物」、および「炒め物」の7通りの調理法はどれも身近なものであるが、調理法によって好まれる程度が異なり、この傾向は特に女性で著しい。また年齢に伴って嫌われる傾向が弱くなる。同一嗜好段階選択率は男性では2.32から2.93まで、女性では2.17から2.92までである。男女とも「鍋物」、「煮物」、「丼物」、および「汁物」のように、よく似た感じを受ける調理法の間においてこの比率はやや高く、それら以外の組み合わせではあまり高いとも、低いともみなせない。しかし、この比率は年齢によって異なり、男性では小学生（2.81）と中学生（2.86）、女性では高校生（2.90）と50才代（3.17）において高い。また、同一年齢段階内でも調理法の組み合わせによって比率が大きく変動する。男性では幼稚園児において、「鍋物」－「煮物」（2.9）、「丼物」－「汁物」（3.1）のようによく似た感じの調理法の組み合わせでは高く、「なま物」－「酢の物・あえ物」（2.1）、「なま物」－「炒め物」（2.0）、「丼物」－「酢の物・あえ物」（2.1）、「汁物」－「酢の物・あえ物」（2.1）、および「汁物」－「炒め物」（2.2）のように、違った感じを受ける調理法の間ではこの比率は低い。小学生では「なま物」－「煮物」（2.9）、「鍋物」－「煮物」（3.3）、「煮物」－「丼物」（2.9）、「煮物」－「汁物」（2.9）、「煮物」－「酢の物・あえ物」（3.8）、「煮物」－「炒め物」（3.1）、「丼物」－「汁物」（4.0）、「酢の物・あえ物」－「炒め物」（3.1）の間で高く、「汁物」－「炒め物」（2.1）、および「丼物」－「炒め物」（2.1）の間で低い。この中にはよく似た感じを受ける調理法の組み合わせが含まれる。中学生では「なま物」を除くすべての調理法の組み合わせにおいて高い（2.7～3.3）。女性では小学生において「なま物」－「煮物」（2.8）、「なま物」－「炒め物」（3.0）、「煮物」－「炒め物」（3.0）、「丼物」－「汁物」（4.3）、「酢の物・あえ物」－「炒め物」（2.9）の間で、高校生では「汁物」と「なま物」以外の組み合わせ、30才代では「鍋物」、「煮物」と他の組み合わせ、50才代ではほとんどすべての組み合わせにおいて高いが、これはそれぞれの調理法をよく理解しなかった結果であると考えられない。

アンケート用紙において連続した項目である「鍋物」－「煮物」（男性では2.70、女性では2.82）、「煮物」－「丼物」（男性では2.73、女性では2.71）、「丼物」－「汁物」（男性では2.93、女性では2.92）では同一嗜好段階選択率が高く、そのような人が各年齢段階の人数の80%を超える年齢段階は、他の調理法相互の組み合わせにおけるよりも多いが、選択率は3倍に達しない。また、これらはよく似た感じを受ける調理法である。同一嗜好段階選択率があまり高くないことから、ねぎ類の各種調理法に対する嗜好段階の選択はアンケート用紙における質問の並び方と関係なく、それぞれの調理法を十分理解した上で行われたと考えられる。

すなわち、この野菜は日常よく使われ、従ってこの報告で取りあげた調理法の種類が多い。好まれる傾向が強いはかりでなく、大部分の調理法はよく理解された上で嗜好段階について回答

されたと考えられる。

3・5・5. ちしゃ類：「なま物」と「酢の物・あえ物」の2通りの調理法を対象とした。好まれる傾向にある野菜であり、この傾向は特に女性では著しい。男性では嫌いの傾向が年齢に伴って減少する。よく似た感じの上記の2つの調理法では同一嗜好段階選択率はあまり高くない。すなわち、これらの調理法はよく理解された上で回答されたと考えられる。しかし、同一嗜好段階選択率が高い年齢段階があり、男性では中学生（3.2）、女性では年齢による差が大きく幼稚園児（2.9）、高校生（2.9）、および20才代（3.0）において高い。2つの調理法しか取り扱わなかったため、嗜好段階の選択が野菜の種類によるものか、それが調理法によって変るものかは判断できない。

3・5・6. 三つ葉：「鍋物」、「丼物」、「汁物」および「蒸し物」の4通りの調理法を対象とした。これらはいずれも伝統的な調理法である。男女による嗜好の程度の差が最も小さく、調理法による差も小さい。年齢に伴って好きになる傾向が強くなる。同一嗜好段階選択率が高く、このような人数が各年齢段階の構成の80%以上を占める年齢段階が多い。この率が高い傾向は男女とも30才代以下（女性では短大生を除く。男性では2.90～3.35、女性では2.78～3.35）で著しい。

アンケート用紙において連続した「鍋物」－「丼物」（男性では3.09、女性では2.83）、「丼物」－「汁物」（男性では2.96、女性では2.82）の間では同一の嗜好段階を選んだ人数の比率が特に高いが、連続していなくても「丼物」－「蒸し物」（男性では3.03、女性では2.85）では高い。すなわち、この野菜の各調理法に対する嗜好段階の選択には、アンケート用紙における並び方はほとんど影響がない。

このように同一嗜好段階選択率が高いことは、この野菜に対する嗜好が人によって定まっておらず、ここで扱ったようなよく似た感じを受ける調理法相互の間では、調理法によって変わらないためであると考えられる。

3・5・7. セリ：好まれる傾向が弱い野菜である。このことは特に女性において著しい。また、年齢に伴って好まれるようになる。同一嗜好段階選択率が高く、そのような人が80%を越える年齢段階が多い。この率は年齢に伴って減少する。すなわち、「鍋物」と「酢の物・あえ物」という全く異なる感じの2つの調理法を取りあげたが、この野菜に対する嗜好は人によって固定しており、女性の高校生、短大生、20才代と50才以上以外の年齢段階では、調理法を変えても嗜好段階が変わらない。

3・5・8. 広島菜類：一般に好まれる傾向が強い野菜である。「煮物」、「漬物」および「炒め物」というそれぞれ異なる感じを受ける3通りの調理法を取りあげた。評価は調理法によって大きく異なり、年齢に伴って好まれる傾向が強くなる。好まれる程度は性別と調理法によって大きく異なる。異なる感じを受ける調理法を取りあげたため、同一嗜好段階選択率はあまり高

くない。しかし、この率は男性では小学生 (3.13)、中学生 (3.27)、高校生 (3.00)、女性では小学生 (3.00)、中学生 (3.10) で高い。「好きでも嫌いでもない」の嗜好段階を選択する人数が多いので、特に上記の年代ではあまりよく認識されていない野菜であると考えられる。

この比率はアンケート用紙において連続していない「煮物」－「炒め物」の組み合わせにおいて最も高い年齢段階が多い。従って、この野菜の各調理法に対する嗜好段階の選択は、アンケート用紙における質問の並び方にはほとんど影響されない。

すなわち、高年齢層では各調理法を理解した上で回答したと考えられるが、若年齢層ではこの野菜はあまりよく理解されていない可能性が考えられる。

3・5・9. 小松菜： やや好まれる野菜である。性別によって好まれる程度が異なり、年齢に伴って好まれる程度が強くなる。同一嗜好段階選択率は、男性では小学生、中学生および高校生、女性では幼稚園児と中学生で高い。選ばれた調理法は「煮物」と「漬物」であり、ともに伝統的であるが異なる感じの調理法である。しかも、「好きでも嫌いでもない」の嗜好段階を選択する人数が多いので、特に上記の年代ではあまりよく認識されていない野菜である可能性が考えられる。

3・5・10. には： 調理法によって好まれる程度が大きく異なる。年齢に伴って好まれるようになるが、その程度はあまり著しくない。同一嗜好段階選択率が最も高い野菜の一つである。この比率は男性では20才代と50才代 (2.30と2.56、他は3.03～3.85) を除くすべての年齢段階で、女性では幼稚園児から20才代まで (3.50～3.76) で著しく高い。選ばれたのは「煮物」と「炒め物」で感じが違う調理法である。すなわち、調理法によって嗜好段階を変えることができにくいほど人によって嗜好性が分かれている野菜であると考えられる。

3・5・11. バセリ： これまでに扱った野菜は、好まれる傾向にある (前報の表2における評価が正の値をとる) 野菜である。しかし、これは嫌われる傾向にある。嫌われる程度は特に女性で著しい。年齢に伴って「非常に嫌い」の人数が減少する。「なま物」、「酢の物・あえ物」および「汁物」の3通りの調理法を扱った。同一嗜好段階選択率が高い。この比率は男女とも40才代以下で高い。この傾向は嫌われる傾向の強い「酢の物・あえ物」と「汁物」の間で著しい。

同一嗜好段階選択率は、アンケート用紙において連続した調理法の組み合わせにおいてやや高いように見受けられる。しかし、連続した調理法の組み合わせが2つ、連続しない組み合わせが1つしかない。しかもそれらの間に見られる選択率の差は小さい。従って、アンケート用紙における並び方に関係なく回答が行われたと考えられる。

すなわち、調理法のいかんにかかわらず、嗜好性が人によって定まっている野菜であると考えられる。

3・5・12. ブロッコリー： 好まれる傾向が性別と調理法によって大きく異なり、年齢に伴って「嫌い」と「非常に嫌い」の割合が減少する。同一嗜好段階選択率は、全年齢を通じて

みるとやや高めであるが、年齢によって大きく異なり、男性では幼稚園児から高校生までと40才代(2.94~3.38)、女性では幼稚園児から高校生までと20才代(2.99~3.63)で特に高い。男性では50才代以上、女性では30才代以上において、この比率はあまり高くない。すなわち、新しい野菜であるが、これらの年齢以上ではよく認識されていると考えられる。しかし、選ばれた調理法は「酢の物・あえ物」と「炒め物」という感じの異なる調理法であるにもかかわらず若年齢層では同じ嗜好段階を選ぶ人数が多い。これはあまりよく認識されていないためか、あるいは調理法を変えても洋風化により変らない程度嗜好が確立しているためか判断しにくい。

4. 結論

アンケートの回答が択一選択方式であることをいかしながら、それぞれの野菜料理に対して選択した嗜好段階の関係を検討し、次のような結論が得られた。

それぞれの野菜に対する嗜好の程度は各人によって決っており、若年齢層では、調理法を変えても嗜好の程度を大幅に変えられる可能性は少ないが、高年齢層では調理法によって嗜好段階が多少変ることが明らかとなった。

5. 要約

前報と同様、昭和63年7月から11月に行なった下関市とその近郊に住む男性851名、女性909名について、21種類の野菜に関する10通りの調理法計50の野菜料理に対して行なったアンケートを用い、各野菜料理に対する各人の嗜好段階選択の関係を、択一選択回答方式の特徴をいかしながら調べ、次の結果が得られた：

1. 男性では10、女性では11の年齢段階の各々について、同一野菜の2つの調理法に対する嗜好段階選択の関係を4×4分割表(70組合わせ×21年齢段階、計1470の表)を用いて検討した結果、同一野菜の異なる調理法に対して同じ嗜好段階を選ぶ傾向が認められた。
2. 同一野菜の異なる調理法に対する嗜好段階の選択が調理法相互に無関係になされたと仮定したときに、同一の回答をする人数の出現期待値を求め、これと対応する実測値をF分布による実測百分率と理論百分率の比較法によって検討し、以下の結果が得られた。
 - 1) 多くの組合わせにおいて、実測値は期待値の2倍から3倍までである(実測値の期待値に対する比率を以下では選択率を呼ぶ)。すなわち、調理法が異なっても同じ野菜に対しては同じ嗜好段階を選ぶ傾向がみられる。
 - 2) 選択率はほうれん草、ねぎ類のように食べる機会が多い野菜では低く、せり、にら、三つ葉、パセリ、ブロッコリー、春菊、小松菜のようにあまり頻繁に食べられない野菜で

は高い。

- 3) 選択率は好まれる（前報の表2の評価の値が高い）野菜あるいは調理法では低く、あまり好まれない野菜では高い。
 - 4) 選択率は同じような感じを受ける調理法の間では高い。
 - 5) 選択率は若年齢層では高く、高年齢層ではあまり高くない。
 - 6) 選択率とアンケート用紙における調理法の並べ方の間には明らかな関係は認められない。
3. 以上の結果より、各種野菜料理に対する嗜好性について次のように結論される：各人の嗜好段階の選択は野菜の種類によってきまる。若年齢層における嗜好段階選択は調理法を変えてもあまり変わらないが、高年齢層では調理法によって多少変る。

本研究にあたり、統計処理や種々のご指導を賜った水産大学校教授前田弘博士および本学学長高井徹博士、並びに当調査にご協力下さった多くの方々に記して厚く謝意を表します。

文献

- 1) 安達 巖：世界史に探る日本型食生活，同文書院，東京，1984，pp. 266～277
- 2) 川島 四郎：日本食長寿健康法，読売新聞社，東京，1986，pp. 52～75
- 3) 平山 雄：老化・がんを予防するカロチンの秘密，ごま書房，東京，1990，pp. 23～194
- 4) 食糧栄養調査会編集：食料・栄養・健康，東京，医歯薬出版，東京，1990，p. 207
- 5) 河野 光子：下関女子短期大学紀要，8，25～59（1989）
- 6) 鳥居敏雄 他：医学・生物学のための推計学，東京大学出版会，東京，第17刷，1981，p. 361